



ツツジ
(茂原市の花)



東上総のマーク
(H26 作成)

〒297-0024 茂原市八千代 2-10
千葉県教育庁東上総教育事務所
TEL 0475-23-8125 FAX 0475-25-3143
E-mail hkzs04@mz.pref.chiba.lg.jp
第5号

平成28年12月16日(金)発行

所長訪問・指導室訪問を振り返って

今年度は、所長訪問65校、指導室訪問65校を行いました。訪問を学校運営の改善や教員の指導力向上の機会と考えて取り組んでいただきました。

事務所所員も、できる限りの準備をして訪問に臨み、授業参観や諸表簿・施設の点検等を通して、学校を知り、先生方を知り、学校の教育力を向上させるために、指導・支援をしてきました。訪問を振り返り、成果と課題について課室ごとにまとめましたので、今後の参考にいただければと思います。



すべては、子どもたちのために！

総務課

訪問の際は、校内の環境整備や諸表簿の御準備ありがとうございました。概要説明では、事務長や主査の方々から、学校運営への参加や事務の共同実施の状況などの話を含め、とても意識の高い意見を聞くことができました

総務課では、主に給料・手当関係の諸表簿を確認させていただきました。結果については、おおむね良好でしたが、一部の学校で押印漏れ、認定簿の記載誤り、教員特殊業務手当の回数違い等が見受けられました。これらの不備は、よく確認することにより防げることです。再度のチェックをお願いします。

また、各手当の認定簿に一覧表を付けて、見やすく整理してあるなど手当の認定に誤りが出ないように工夫している学校もありました。

今後も、適正・正確な事務処理の徹底を図ってまいりますので、御協力をよろしくお願いいたします。

管理課

訪問を学校経営及び運営の診断のよい機会と前向きに捉え、素晴らしい環境を整えて迎えていただき、ありがとうございました。

不祥事根絶に対する取組では、日常のモラルアップ委員会の活動を活性化させ、ボトムアップ型の不祥事根絶研修を計画的に行っている学校も多く見られました。「本校からは不祥事は絶対に出さない」という合言葉のもと、引き続きコンプライアンス意識の高揚を目指した取組を、よろしくお願いいたします。

また、勤務時間の適正管理の点からは、管理職が職員の出退勤時間の記録・集計をし、課題解決のために各学校でさまざまな取組をしている姿を確認することができました。

「働き方改革」が世の中で叫ばれている今、学校という職場での働き方をもう一度見直し、心身ともに健康な状態で子どもたちの前に立っていただきたいと考えています。

今後も、各教育委員会のバックアップと校長先生方のリーダーシップのもと、全職員が一丸となって「すべては子どもたちのために」取り組んでいただけるよう期待します。



指導室

学校経営については、校長先生方のマネジメントによって、学校改善が着実に進められていました。各学校では、県教育委員会の指針や各市町村教育委員会の方針、学校評価による課題に基づいて、教育目標を設定したり経営の具体策を立てたりしていました。

学力向上については、分析ツールを活用した授業改善、教育課程の工夫や改善、家庭学習の充実、読書活動の推進を中心に、具体的な手立てが講じられていました。特に、体験的な学習や問題解決的な学習の推進、個に応じた指導の充実、県教委作成の資料の活用、学び合いの充実、ICTの活用等に重点が置かれていました。

若手教職員の育成については、校内に若年層研修会や相互授業参観等を位置付けており、指導主事の活用や若手教員育成推進員活用事業への参加にも積極的に取り組んでいただきました。



生徒指導については、学校いじめ防止基本方針の保護者や地域への公表が進むとともに、積極的な認知により、認知件数も増えてきています。長期欠席の問題は未だ厳しい状況ですが、SCやSSW等の専門職員が増員され、目的に応じた活用が工夫されてきています。



特別支援教育については、今年度から、中学校への学校訪問において、特別支援教育部会を設けました。「障害者差別解消法」や「合理的配慮の提供」について、教職員の意識の向上が見られ、特別な支援を必要とする児童生徒にとってのわかる授業づくりについて、研修や実践を深めている学校も増えていきます。

体育・健康・安全教育については、健康教育の計画の整備が進み、食に関する指導では、栄養教諭や学校栄養職員と連携した取組が積極的に実践されています。

キャリア教育については、全体計画が整備され、**社会教育**については、情報発信や受信に努め、他校種との連携、家庭・地域とともに歩む学校づくりがさらに進められています。

次期学習指導要領の改訂に向けた「**アクティブ・ラーニング**」に視点を当てた授業改善や、「**特別の教科道徳**」の推進等を取り入れている学校も増えてきています。今後は、中教審の答申を注視していただくとともに、新しい教育の動向を踏まえた学校改善への不断の取組を期待しております。また、授業改善や指導力向上等において、**さらなる積極的な指導室の活用**をお願いいたします。

「公立学校管理運営研修会」が実施されました



11月4日（金）に、千葉県教育庁教育振興部教職員課 稲葉 泰 課長，同課管理主事を講師に、「平成28年度公立学校管理運営研修会」を開催しました。

研修1では、横山 昌彦 所長が、**管内の教育の現状**について各種データに基づく解説を行い、そこから読み取れる**課題および具体的な方策**について、参会者に熱いメッセージを送りました。研修2ではグループ討議を交えながら、**多忙化解消**に向けてどのような取組ができるか、研修3では**教員免許更新**の留意点について研修を行いました。また、研修4では**法規及びサービス**についての演習を行い、研修5では**不祥事根絶**に向け、具体策について協議を交えながら研修を行いました。

また、全体講評では教職員課 酒匂 一揮 主幹兼管理室長に、研修会の総括をしていただくとともに、現在の県内の課題である不祥事根絶、勤務時間の適正管理、若手の育成について、学校の中核である副校長・教頭先生方へ期待と励ましの言葉をかけていただきました。

本研修で学んだことを学校現場で生かし、**教職員一人一人の規範意識及び危機管理意識の高揚**へとつなげていただきたいと思います。本教育事務所は、各学校が学校経営の円滑化をさらに図っていけるよう、取組を進めてまいります。

『平成28年度東上総教育事務所管内学力向上交流会』が開催されました

11月18日（金）に、**いすみ市立中川小学校**と夷隅文化会館の2か所を会場にして、約200名の先生方の参加のもと、「学力向上交流会」が開催されました。

中川小学校では、「**算数科における学び合う活動の充実**」をテーマに「『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム」を生かした授業が展開されました。児童が課題に真剣に向かい、自分の考えを伝え合い・学び合う姿が見られました。



夷隅文化会館に会場を移して行われた全体会では、千葉県教育委員会から『平成28年度全国学力・学習状況調査の結果について』（リーフレット）を用いた結果分析と活用方法の説明がありました。その後、中川小学校の研究発表においては研究の成果が報告されました。全体会の前に参観した授業と併せて、たいへん参考になるものばかりでありました。

分科会では「**ちばっ子『学力向上』総合プラン**」の実践事例に基づき、下記の6分科会に分かれ、効果的な活用方法について、達人の先生による実践発表や熱心な協議が行われました。

第1分科会	「学力・学習状況」検証事業（小・中学校） 【全国学力・学習状況調査の活用による学力向上実践の発表】
第2分科会	魅力ある授業づくりの達人（国語） 【達人の実践発表】
第3分科会	魅力ある授業づくりの達人（理科） 【達人の実践発表】
第4分科会	「学びの突破口ガイド」（算数） 【説明・活用】
第5分科会	確かな学びの早道「読書」事業 【実践協力校の発表】
第6分科会	地域人材活用による基礎学力向上の取組 【いすみ市たけのこ塾の実践発表】